

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	京都市における下水道事業の推進（その3）（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	京都市												
計画の目標	下水道事業を推進し、快適な市民生活を確保するとともに、資源の有効活用によって地球環境にやさしい循環型まちづくりに貢献する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	5,050	A	5,050	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	下水汚泥有効利用率を、23.7%から50%に増加させる。 下水汚泥有効利用率（総発生汚泥量に対する有効利用した汚泥量の割合） 有効利用した汚泥量 / 総発生汚泥量	平成30 24%	%	令和4 50%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
個別施設計画：○流域水循環計画：○京都市水共生プラン（流域水循環計画）に基づき実施される要素事業：A-1, A-2														

A 基幹事業																				
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		種別	種別	対象	間接		種別 1	種別 2				H30	H31	R02	R03	R04				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	京都市	直接	京都市	管渠 (	新設	污水整備	污水管 (φ200~300mm, L=30	京都市	■					50		—	
	A07-002	下水道	一般	京都市	直接	京都市	終末処	新設	鳥羽水環境保全センター	下水污泥固形燃料化施設	京都市	■	■	■			5,000		策定済	
											小計						5,050			
											合計							5,050		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

本計画の事業については、本市の公共下水道事業経営評価において、実施状況を評価

事後評価の実施時期

・通年

公表の方法

・京都市上下水道局ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

・下水汚泥の有効利用を推進することにより、循環型社会の構築に寄与している。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

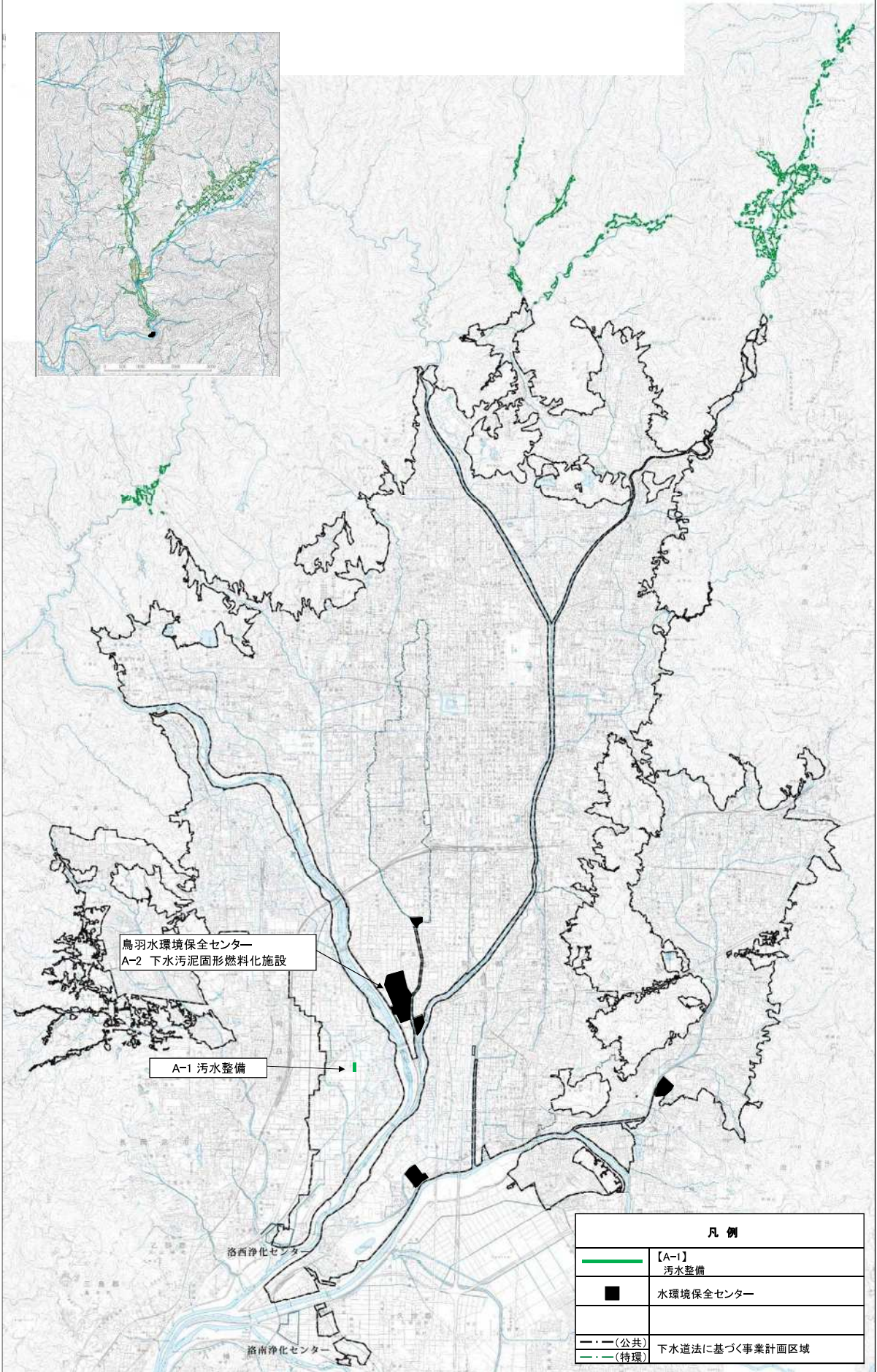
現在、京都市上下水道局中期経営プラン（2023 - 2027）に沿った令和5年度～令和9年度の整備計画を策定し、下水道事業を推進している。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	50%
	最終実績値	67%
		目標計画時点と比べ、発生汚泥量の減少により、有効利用率が増加。





(参考図面)

計画の期間 平成30年度～令和4年度(5年間)  
計画の名称 京都市における下水道事業の推進(その3)(重点計画)

交付対象 京都市



凡例

	【A-1】 汚水整備
	水環境保全センター
	(公共) 下水道法に基づく事業計画区域
	(特環)